

事業名：農業振興資金貸付事業

農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和45年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内に住所を有し、かつ、農業振興地域の整備に関する法律（農振法）に基づく農用地区域内に経営地を有する農業者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
融資機関（農協）が農業者に貸付ける振興資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減を図る。 ◎1～5号資金 市が農協に融資額の1/2を預託 ◎6号資金 市が農協に融資額の2/3を預託									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設・機械等の導入実現のため、国・道の制度資金を補完する融資事業であり、低利で利用しやすい貸付資金の提供により、施設・機械等を導入しやすくし、農業者の農産物の生産性の維持・向上、農業所得の向上、農業生産の基盤強化を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	農家世帯数（1月1日）	世帯	433	421	421	421
対象指標2						
活動指標1	新規貸付件数	件	4	7	26	23
活動指標2	新規貸付金額	千円	4,000	5,275	31,500	28,500
成果指標1	施設・機械等の導入数	件	0	0	26	23
成果指標2						
事業費(A)		千円	43,792	38,823	59,534	46,535
正職員人件費(B)		千円	1,953	1,963	1,956	1,913
総事業費(A+B)		千円	45,745	40,786	61,490	48,448

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	融資機関（農協）が農業者に貸付ける農業振興資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減を図る。	無利子預託金（継続枠36件、新規枠23件）46,535千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
28年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
向上					
維持		○			
低下					

事業名：合併処理浄化槽設置貸付事業

農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内の下水道が整備されていない地域の居住者。									
手段（事務事業の内容、やり方）									
農業振興資金特認資金分（合併処理浄化槽設置費用）としての原資の一部として融資機関に無利子で預託を行うことにより農業者への貸付利率の低減を図る。 ※生活環境部環境室では、合併処理浄化槽の助成金制度があり、設置に係る費用の一部（基準助成額）の概ね4割を国費、道費、市費で助成しており、設置費用残額（上限あり）を農業振興課で貸付するものである。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
合併処理浄化槽の計画的な整備を図り、し尿と雑排水を併せて処理することにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とする。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市内農村部世帯数	世帯	433	421	421	421
対象指標 2	下水道認可区域外の世帯	世帯	1,351	1,344	1,333	1,339
活動指標 1	新規貸付件数	基	1	1	2	2
活動指標 2	新規貸付金額	千円	725	725	1,450	1,450
成果指標 1	設置基数	基	1	1	2	2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,065	1,265	2,350	1,990
正職員人件費 (B)		千円	391	393	391	383
総事業費 (A+B)		千円	1,456	1,658	2,741	2,373

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	農業振興資金特認資金分（合併処理浄化槽設置費用） 。融資機関（農協）が農業者に貸付ける農業振興資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減を図る。	無利子預託金（継続枠2件、新規枠2件）1,990千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：鳥獣被害防止対策事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
農業被害等をもたらす鳥獣									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害対策実施隊を設置する等関係機関連携により対策を講じる。 ・「有害鳥獣駆除助成事業補助金交付要領」に基づき、農業被害等をもたらす鳥獣対策を行う団体等に対して事業費を補助する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
鳥獣による農作物への被害を減少させる。									

指標・事業費の推移							
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算	
対象指標 1	対象鳥獣	種類	2	4	4	4	
対象指標 2							
活動指標 1	鳥獣被害対策実施隊出動数	回	0	20	20	24	
活動指標 2	鳥獣被害対策実施隊派遣数	人(のべ)	0	288	353	470	
成果指標 1	鳥獣捕獲頭数	頭・羽	0	55	65	60	
成果指標 2							
事業費 (A)		千円	41	0	90	90	
正職員人件費 (B)		千円	2,344	2,749	2,738	2,678	
総事業費 (A+B)		千円	2,385	2,749	2,828	2,768	

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害対策実施隊による捕獲活動 ・捕獲活動経費助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥獣被害対策実施隊報酬 60千円 ・捕獲活動経費助成 30千円 この他、江別市鳥獣被害防止対策協議会へ直接交付される国費を活用

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：江別産農畜産物ブランディング事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化		
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開		
				プログラム	② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援		
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助 補助金 事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内農業者及び市民
手段（事務事業の内容、やり方）	<p>〈小麦〉「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、地元産小麦の安定供給等に対して補助する。</p> <p>〈黒毛和牛〉「えぞ但馬牛ブランド化支援事業実施要領」に基づき、次のとおり補助する。</p> <p>①精液等購入経費：補助率1/2以内 ②繁殖牛自家保留：1万円以内/頭 ③受精卵移植：5,500円以内/回</p>
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	市民に認められた農畜産物ブランド品が供給され続けるための仕組みを作ることで、各品目の安定生産を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	市内農業者	人	1,172	1,140	1,140	1,140
対象指標2	市民	人	120,802	120,335	120,335	119,587
活動指標1	補助金額（小麦関係）	千円	0	1,570	2,080	1,890
活動指標2	精液購入等補助金額	千円	650	730	750	750
成果指標1	特産品の認知個数	品目	2	2	2	2
成果指標2						
事業費(A)		千円	650	2,300	0	0
正職員人件費(B)		千円	3,516	3,534	3,911	3,826
総事業費(A+B)		千円	4,166	5,834	3,911	3,826

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・ブランド化小麦地域安定供給補助 ・黒毛和牛優良種雄牛精液購入等補助 	<p>※26年度補正予算を27年度へ繰越したため、27年度当初予算は0円である。</p> <p>【27年度繰越事業費…3,207千円、27年度総事業費…7,118千円】</p> <p>※27年度補正予算を28年度へ繰越するため、28年度当初予算は0円である。</p> <p>【28年度繰越事業費…2,640千円、28年度総事業費…6,466千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランド化小麦地域安定供給補助 1,890千円 ・黒毛和牛優良種雄牛精液購入等補助 750千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：「食」と「農」の豊かさ発見実践事業 農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内小中学生及び市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・生産者を講師に小中学生を対象とした農業体験及び加工体験を実施する。 ・食育を推進するための協議会を開催する。 ・農協青年部が実施する消費者との交流活動に事業費の補助を行う。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
「食」についての共通認識のもと、次代を担う小学生や消費者に、「食ること」の大切さと「地域農業」に対する理解を深めてもらう。									

指標・事業費の推移							
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算	
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,441	9,235	9,111	8,802	
対象指標 2	市民	人	120,208	120,335	120,335	119,587	
活動指標 1	農業体験及び加工体験学習実施回数	回	21	26	20	23	
活動指標 2	食育推進協議会議実施回数	回	1	1	1	1	
成果指標 1	農業体験及び加工体験学習参加者数	人	835	1,025	1,090	1,025	
成果指標 2	参加者の「食」及び「農業」に対する関心度	%	87.5	97.4	100	100	
事業費 (A)		千円	1,546	1,512	1,950	1,955	
正職員人件費 (B)		千円	5,078	7,460	8,213	8,034	
総事業費 (A+B)		千円	6,624	8,972	10,163	9,989	

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生食育事業（農業体験・調理体験） ・中学生食育事業（地場産農産物の授業・お弁当コンテスト） ・学校給食への地場産農産物導入支援 ・農業体験実施団体への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生食育事業費 1,551千円 ・中学生食育事業費 133千円 ・地場産農産物導入支援 146千円 ・農業体験への補助 100千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：都市と農村交流事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開					
				プログラム	② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援					
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	団体運営補助	

事務事業の目的と成果										
対象（誰、何に対して事業を行うのか）										
市内農業者及び市民										
手段（事務事業の内容、やり方）										
<ul style="list-style-type: none"> 「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、都市と農村の交流の推進を図るための事業を行う団体に対して、事業費を補助する。 補助を受けた協議会は、都市と農村の交流を推進するため、それぞれの部会（直売所部会・貸し農園部会・加工部会）が連携した活動を行う。 										
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
<ul style="list-style-type: none"> 農業を介しての都市と農村の人的交流を盛んにする。 農村の自然や文化に触れあうことで心身のやすらぎの場を提供する。 江別産の農畜産物の消費拡大により、生産者の所得増につなげる。 										

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	市内農業者	人	1,175	1,140	1,140	1,140
対象指標2	市民	人	120,802	120,335	120,335	119,587
活動指標1	イベント開催回数	回	19	18	20	20
活動指標2	各部会等開催回数	回	11	13	10	10
成果指標1	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	人	438,772	485,790	427,000	486,000
成果指標2	イベント参加者の関心度	%	97	100	80	80
事業費(A)		千円	970	1,069	992	0
正職員人件費(B)		千円	5,078	5,104	5,084	5,356
総事業費(A+B)		千円	6,048	6,173	6,076	5,356

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> 江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会に対して補助金を支出 協議会事業：直売所スタンプラリー、農産物加工品ブランドシール作成、野菜栽培講習会、収穫体験ツアーなど 加工新商品開発等の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ※27年度補正予算を28年度へ繰越しするため、28年度当初予算は0円である。 【28年度繰越事業費…1,800千円、28年度総事業費…7,156千円】 ・交流推進協議会への補助 1,000千円 ・加工新商品開発等支援補助 800千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	新規に加工新商品開発等の支援を行う。	減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：酪農経営安定技術高度化支援事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略						
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト						
				プログラム						
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内酪農家									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・「乳質改善促進事業実施要領」に基づき、乳質検査に係る経費の一部に対して助成を行う。（定額150千円） ・「産学官連携畜産技術高度化促進支援事業実施要綱」に基づき、江別市ホルスタインショウに係る経費の一部に対し助成を行う。（補助率1/2以内） ・「酪農ヘルパー支援事業実施要綱」に基づき、酪農ヘルパー人件費の一部に対して助成を行う。（補助率1/2以内） 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
生産性の向上と就業環境の整備が図られ、持続可能で安定した酪農経営ができる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	酪農家戸数	戸	50	46	50	46
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,158	1,163	1,200	1,200
活動指標 2	検査牛延べ頭数	頭	15,719	15,745	16,560	16,560
成果指標 1	酪農家 1戸当たり乳量	t	456.8	501.1	456.8	501.1
成果指標 2	酪農ヘルパー利用延べ回数	回	556	462	556	462
事業費 (A)		千円	1,158	1,163	1,200	1,200
正職員人件費 (B)		千円	5,469	5,497	5,475	5,356
総事業費 (A+B)		千円	6,627	6,660	6,675	6,556

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・乳質検査に係る経費の一部に対して助成を行う。 ・江別市ホルスタインショウに係る経費の一部に対して助成を行う。 ・酪農ヘルパー人件費の一部に対して助成を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳質サンプル検査に係る経費への補助 150千円 ・江別市ホルスタインショウに係る経費への補助 350千円 ・酪農ヘルパー人件費への補助 700千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：次世代就農定着サポート事業

農業振興課 農政係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成24年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	その他

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
就農予定者及び若手農業者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
青年就農給付金（経営開始型）支給 ・江別市青年就農給付金事業（経営開始型）給付要領									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
45歳未満農業者の増加									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	45歳未満農業者数	人	206	206	210	210
対象指標2						
活動指標1	青年就農給付金支給件数	件	3	4	9	9
活動指標2	45歳未満の新規就農相談件数	件	0	3	4	4
成果指標1	45歳未満農業者の割合	%	17.5	18.2	18.4	18.4
成果指標2						
事業費(A)		千円	4,544	9,750	9,750	13,500
正職員人件費(B)		千円	1,563	4,319	2,347	2,295
総事業費(A+B)		千円	6,107	14,069	12,097	15,795

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	国の実施要綱に基づく青年就農給付金（経営開始型）支給	青年就農給付金（経営開始型） 13,500千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
28年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
向上					
維持					○
低下					

事業名：農村環境改善センター維持管理費

農業振興課 農村環境整備係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和54年度	終了年度	平成29年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
農村環境改善センター									
手段（事務事業の内容、やり方）									
農村環境改善センターの維持・管理に要する経費。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
農村環境改善センターが適切に運営管理される。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	施設数	施設	2	2	2	2
対象指標 2						
活動指標 1	維持・管理経費	千円	15,915	15,668	15,760	14,493
活動指標 2	開設日数	日	331	329	331	330
成果指標 1	利用者数	人	14,549	18,733	10,800	10,800
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	15,916	15,668	15,760	14,493
正職員人件費 (B)		千円	1,172	1,178	1,173	765
総事業費 (A+B)		千円	17,088	16,846	16,933	15,258

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	農村環境改善センターの管理運営・維持修繕 （江北） 芝刈り機修繕 （野幌） ガスコンロ購入	<ul style="list-style-type: none"> 改善センター職員給与 7,385千円 改善センター保守管理費 2,322千円 電気料・水道料・ガス代 2,223千円 A重油代・灯油代 2,070千円 備品修繕費 44千円 備品購入費 22千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下
			○	

事業名：花き・野菜栽培技術指導センター管理運営事業 農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
花き・野菜栽培技術指導センター									
手段（事務事業の内容、やり方）									
指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設の維持管理運営を適切に行い、花き・野菜の生産振興の拠点機能を発揮させる。									

指標・事業費の推移							
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算	
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1	
対象指標 2							
活動指標 1	指定管理料	千円	9,508	9,662	9,925	9,956	
活動指標 2							
成果指標 1	管理運営上の不具合件数	件	0	0	0	0	
成果指標 2							
事業費 (A)		千円	9,805	9,662	9,925	9,956	
正職員人件費 (B)		千円	3,516	2,356	2,347	2,295	
総事業費 (A+B)		千円	13,321	12,018	12,272	12,251	

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	指定管理者への管理代行	指定管理料 9,956千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
28年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
維持		改革方向性(成果)	向上		
見直し			維持	○	
新規			低下		
休止					
廃止					
その他					

事業名：家畜排せつ物処理施設設置貸付事業 農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内畜産農家									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市家畜排せつ物処理施設設置資金貸付要領に基づき、江別市家畜排せつ物処理施設設置資金（江別市農業振興資金特認資金）を設置し、融資機関（農協）が農業者に貸し付ける資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減（無利子貸付）を図る。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
畜産農家の資金不足による家畜排せつ物処理施設の未整備を解消し、家畜排せつ物法に基づく適正な管理及び利用をすすめ、地域の環境保全、循環型農業の確立を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	畜産農家戸数	戸	75	72	75	72
対象指標 2	家畜排せつ物法適用農家戸数（一定規模以上の農家）	戸	70	69	70	60
活動指標 1	新規貸付件数	件	0	0	0	0
活動指標 2	新規貸付金額	千円	0	0	0	0
成果指標 1	家畜排せつ物処理施設整備農家戸数	戸	70	69	70	60
成果指標 2	家畜排せつ物処理施設整備率	%	100	100	100	100
事業費 (A)		千円	2,240	1,320	1,100	880
正職員人件費 (B)		千円	391	393	391	383
総事業費 (A+B)		千円	2,631	1,713	1,491	1,263

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	江別市家畜排せつ物処理施設設置資金を設置し、融資機関が農業者に貸し付ける資金の原資の一部として、市が融資機関に無利子で預託を行うことにより、農業者への貸付利率の低減を図る。	無利子預託金 880千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規		○		
休止				
廃止				
その他				

事業名：排水路維持管理経費

農業振興課 農村環境整備係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成19年度	終了年度	平成29年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	その他

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
農業用排水路									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市土地基盤整備事業規則に基づき床溜いは事業費の2/3、草刈は事業費の1/2を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
農業用排水路の排水能力を維持する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	排水路の数	条	88	74	59	59
対象指標 2	排水路延長	m	88,080	77,580	68,730	68,730
活動指標 1	補助金額	千円	2,734	1,877	2,575	1,658
活動指標 2						
成果指標 1	排水路床溜い延長	m	3,800	2,200	2,450	1,480
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,873	2,020	2,720	1,803
正職員人件費 (B)		千円	1,563	1,178	1,173	1,530
総事業費 (A+B)		千円	4,436	3,198	3,893	3,333

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> 農業用排水路敷地内不法投棄処理 第8次江別市排水路改修5ヵ年計画に基づき補助金を支出 	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄ゴミ処理費 145千円 農事組合への補助金 1,658千円 (角山、協和)

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性(成果)	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：江別麦の会支援事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	江別麦の会
手段（事務事業の内容、やり方）	江別麦の会を円滑に運営する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	生産、加工、流通、消費、研究などに関わる各分野の交流を深めることで、麦の生産振興を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	会員数	人	42	44	44	44
対象指標 2						
活動指標 1	視察等対応件数	件	13	3	8	8
活動指標 2	会合回数	回	0	1	1	1
成果指標 1	事業数	回	2	2	1	1
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	1,563	2,356	2,346	2,295
総事業費 (A+B)		千円	1,563	2,356	2,346	2,295

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・総会の開催 ・「江別麦の会」に関する取材対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・人件費事業

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別の米で酒を造ろう会支援事業

農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成12年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
酒米生産者及び市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別産米を原料とした地酒を委託方式により醸造するため、生産・流通・販売に関する企画立案を支援する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市内で生産された米を使用して、地酒「瑞穂のしずく」を造り、地酒のPRをするとともに、江別産米の消費を拡大する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	酒造好適米「慧星」作付農家戸数	戸	4	4	4	4
対象指標 2	市民	人	120,802	120,335	120,335	119,587
活動指標 1	会合回数	回	1	1	1	1
活動指標 2						
成果指標 1	「瑞穂のしずく」販売量	リットル	6,343	7,932	5,751	5,751
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	2,344	2,356	2,346	2,295
総事業費 (A+B)		千円	2,344	2,356	2,346	2,295

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・総会の開催 ・「瑞穂のしずく」に関する取材対応 	人件費事業

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：都市と農村交流施設建設事業

農業振興課 農村環境整備係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成26年度	終了年度	平成28年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
平成26年度 基本設計・現況測量 平成27年度 実施設計 平成28年度 建設工事									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江北中学校跡地に都市と農村交流施設を建設する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	市民	人	0	120,335	120,335	119,587
対象指標2						
活動指標1	事業費	千円	0	8,407	33,000	495,481
活動指標2						
成果指標1	建設された交流施設数	施設	0	0	0	1
成果指標2						
事業費(A)		千円	0	8,407	33,000	495,481
正職員人件費(B)		千円	0	3,534	1,173	3,060
総事業費(A+B)		千円	0	11,941	34,173	498,541

28年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> 都市と農村の交流拠点施設新築工事 都市と農村の交流拠点施設内備品購入 都市と農村の交流拠点施設に係る工事積算資料作成委託 	<ul style="list-style-type: none"> 施設新築給水工事 6,000千円 施設新築外構工事 17,000千円 施設内一般備品購入費 12,000千円 施設内投資関係備品費 1,600千円 施設新築工事積算資料作成委託 940千円 ※27年度補正予算を28年度へ繰越しするため、28年度当初予算は456,380千円である。 【28年度繰越事業費・・・10,620千円、28年度総事業費・・・509,161千円】 施設新築工事 10,620千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：花き・野菜栽培技術指導センター改修事業 農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
花き・野菜栽培技術指導センター									
手段（事務事業の内容、やり方）									
施設設備の老朽化に対応するため、改修を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
施設本来の機能（育苗）を持続・発揮させて、生産者へ高品質苗の安定供給を行う。									

指標・事業費の推移							
		区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	施設数		施設	0	1	1	1
対象指標 2							
活動指標 1	改修費		千円	0	17,592	15,150	265
活動指標 2							
成果指標 1	改修箇所数		箇所	0	4	4	1
成果指標 2							
事業費 (A)			千円	0	17,591	15,150	265
正職員人件費 (B)			千円	0	785	782	383
総事業費 (A+B)			千円	0	18,376	15,932	648

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	花き・野菜栽培技術指導センター施設設備の改修	ポンプ室インバーター取替工事 265千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：日本型直接支払交付金

農業振興課 農村環境整備係

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
農地・農業施設の保全等のために活動する組織									
手段（事務事業の内容、やり方）									
活動組織に対して、市が多面的機能支払交付金を支払う。多面的機能支払交付金は、平成27年度から国費分を含め道費として市に交付されているが、市の負担分は25%である。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
地域の共同活動を支援することにより、農業・農村の有する多面的機能が適切に維持、発揮される。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	活動組織数	団体	7	8	9	9
対象指標2						
活動指標1	協定締結数	協定	7	8	9	9
活動指標2	交付金	千円	0	0	190,404	189,101
成果指標1	協定農用地面積	ha	5,673	5,632	5,866	5,770
成果指標2						
事業費(A)		千円	30,595	46,761	190,404	189,101
正職員人件費(B)		千円	4,297	5,890	3,911	5,738
総事業費(A+B)		千円	34,892	52,651	194,315	194,839

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	・農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して交付金を支出	・多面的機能支払交付金 189,101千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名： 6次産業化支援事業

農業振興課 農村環境整備係

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開				
				プログラム	② 付加価値の高い新製品開発、販路拡大等の支援				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
地域おこし協力隊を活用して、市場調査や加工品製造に対する助言、テストキッチン内の設備操作の指導、6次産業化の支援、グリーン・ツーリズムの情報発信等を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
6次産業化やグリーン・ツーリズムを推進する。									

指標・事業費の推移							
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算	
対象指標 1	市民	人	0	0	0	119,587	
対象指標 2							
活動指標 1	協力隊員数	人	0	0	0	1	
活動指標 2							
成果指標 1	交流拠点施設利用者数	人	0	0	0	0	
成果指標 2	テストキッチン利用者数	人	0	0	0	0	
事業費 (A)		千円	0	0	0	2,708	
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	765	
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	3,473	

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊員を配置 ・隊員に対する機器操作取得費 ・市場調査費（加工品の販売状況等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・隊員報酬費 1,900千円 ・隊員通勤費 70千円 ・隊員の機械操作研修委託料 300千円 ・市場調査に係る移動代 373千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
28年度への改善方向性	29年度開設予定の都市と農村交流拠点施設の運営に向けて、地域おこし協力隊員を活用し、地元農業者の6次産業化への取組みに対する支援やグリーン・ツーリズムを推進するための活動を行う。		減少	維持	増加
維持		向上			○
見直し		維持			
新規		低下			
休止 廃止 その他					

事業名：江別経済ネットワーク事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
			プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援				
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
大学、研究機関、企業など経済ネットワークの参加者	
手段（事務事業の内容、やり方）	
例会（講演、研究成果発表、情報交換等）の開催	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
参加者間の連携を進め、研究や事業活動を活性化する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	経済ネットワーク会員数	人	169	176	164	184
対象指標2						
活動指標1	経済ネットワーク例会開催回数	回	6	4	6	6
活動指標2						
成果指標1	例会参加者数	人	210	139	150	150
成果指標2						
事業費(A)		千円	63	34	341	679
正職員人件費(B)		千円	2,344	3,534	3,129	3,060
総事業費(A+B)		千円	2,407	3,568	3,470	3,739

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・経済ネットワーク例会 ・セラミックス交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ・講師謝礼 56千円 ・取組成果広報経費等 234千円 ・セラミックス交流会経費 51千円 ・市民や企業の交流イベント 338千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：企業立地等補助金

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開					
			プログラム	① 「食」の付加価値を高める産業の集積					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内に対象施設を立地等（新設・増設・設備更新）した企業 対象施設：①製造加工施設 ②環境エネルギー関連施設 ③試験研究施設 ④物流関連施設 ⑤植物工場 ⑥情報関連施設 ⑦コールセンター									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市企業立地等の促進に関する条例に基づき各補助メニュー（立地、雇用、下水道使用料、設備更新）に応じ補助金を交付する。 ①立地補助金…家屋、償却資産の固定資産税相当額 ②雇用補助金…新規雇用者に対して市内居住者20万円（障がい者は20万円加算）、市外居住者10万円 ③下水道使用料補助金…各月当たり500㎡を超える部分の年間下水道使用料の1/2 ④設備更新補助金…償却資産のうち機械及び装置の固定資産税相当額									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市内経済の活性化に寄与する。									

指標・事業費の推移							
		区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	補助金交付企業数		社	1	1	2	5
対象指標2							
活動指標1	補助金額		千円	5,344	5,180	34,900	79,721
活動指標2							
成果指標1	補助金認定件数（累計）		件	22	22	25	27
成果指標2							
事業費(A)			千円	5,344	5,180	34,900	79,721
正職員人件費(B)			千円	7,813	3,927	3,911	3,826
総事業費(A+B)			千円	13,157	9,107	38,811	83,547

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	江別市企業立地等の促進に関する条例に基づき補助金を交付	補助金 79,721千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：企業誘致推進事業

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	B 農業と第2次産業・第3次産業との連携による広域的な展開				
			プログラム	① 「食」の付加価値を高める産業の集積				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
企業・事業所	
手段（事務事業の内容、やり方）	
<ul style="list-style-type: none"> ・道庁、産業支援機関、企業情報調査会社等からの情報収集 ・企業、産業支援機関等へのPR活動 	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市内へ誘致する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	企業・事業所数	社	424,884	410,802	424,884	410,802
対象指標2						
活動指標1	企業、産業支援機関等の訪問数等	社	102	134	100	100
活動指標2						
成果指標1	立地企業・事業所数	社	5	5	2	5
成果指標2						
事業費(A)		千円	1,305	2,262	1,987	1,693
正職員人件費(B)		千円	7,813	18,062	15,644	15,302
総事業費(A+B)		千円	9,118	20,324	17,631	16,995

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致に係る情報収集 ・パンフレット等による情報発信 ・企業訪問等 ・首都圏等で開催する企業誘致イベントへの出展 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業信用調査 648千円 ・企業誘致パンフレット増刷 432千円 ・企業訪問、イベント出展に係る旅費 379千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：起業化促進支援事業

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・起業化促進支援相談員（中小企業診断士）を配置し、開業時や事業拡大時の事業計画等についてアドバイスを行う。 ・市が元町アンビシャスプラザの供用部を借上することで、賃料を低廉にし、入居企業を支援する。 ・創業支援セミナーを開催し、開業や経営についての知識習得につなげる。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市内で起業、開業する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市民	人	120,802	120,335	120,335	119,587
対象指標 2	市内事業所数	所	3,409	3,409	3,409	3,409
活動指標 1	起業に関する相談件数	件	29	27	30	30
活動指標 2	アンビシャスプラザ新規入居件数	件	2	2	2	2
成果指標 1	新規起業数	社	4	2	3	3
成果指標 2	アンビシャスプラザ入居区画数	区画	5	6	8	8
事業費 (A)		千円	2,434	2,488	2,534	3,243
正職員人件費 (B)		千円	1,563	1,571	1,564	7,651
総事業費 (A+B)		千円	3,997	4,059	4,098	10,894

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業診断士による起業化促進支援相談 ・インキュベート施設供用部の賃貸 ・創業支援セミナーの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員報酬 174千円 ・供用部賃貸 2,294千円 ・創業支援セミナー開催経費 709千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
28年度への改善方向性	起業支援の一環として、創業支援セミナーを開催する。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			○
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：商工業近代化資金融資事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和54年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市内の中小企業者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
①商工業設備資金、共同事業資金、新技術開発振興資金、商店街近代化推進資金、新規開業者・産学・産産連携事業資金の5つの資金がある。 ②資金の利用を希望する市内中小企業者は、江別商工会議所中小企業相談所に融資の申込みをする。 ③中小企業相談所は企業診断書を市に提出し、市は金融機関へ融資を斡旋する。 ④金融機関は審査を行って中小企業者へ融資を実行する。 ⑤市は金融機関融資実行後に融資金額の1/2（共同事業資金については1/2.5）を金融機関へ預託する。 ⑥市は中小企業相談所へ企業診断手数料を支払う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
・長期かつ低利子の資金調達により、コストの削減が図られることで経営の安定に寄与する。 ・設備等の近代化で生産性の向上、経営基盤強化を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	市内の事業所数（非農林漁業）	所	3,366	3,366	3,366	3,366
対象指標2						
活動指標1	近代化資金新規融資額	千円	175,900	185,600	186,198	251,064
活動指標2						
成果指標1	制度の利用により、経営基盤強化が図られた企業の割合	%	0.62	0.8	0.71	1.04
成果指標2						
事業費(A)		千円	670,472	660,879	608,297	721,453
正職員人件費(B)		千円	2,735	2,356	2,347	2,295
総事業費(A+B)		千円	673,207	663,235	610,644	723,748

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	・市内の中小企業者等に対し、設備の近代化や経営基盤の強化を図るため、融資を実行する。 ・江別商工会議所中小企業相談所に対し、企業診断手数料を支払う。	・企業診断手数料 1,512千円 ・貸付金 719,941千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名： 中小企業信用保証料補給事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和61年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内の中小企業者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
①金融機関は、借受人の委任を受け、保証料支払日が2月1日から7月末日の場合は8月末日までに、8月1日から翌年1月末日の場合は翌年2月末日までに保証料補給金請求書により市に請求する。 ②市は、請求の内容を確認し、金融機関へ支出する。 ③金融機関は、振り込まれた保証料補給金を借受人へ受け渡す。 ・「江別市中小企業振興条例」及び「江別市中小企業信用保証料補給事務取扱要領」に基づき、運転資金は北海道信用保証協会が定める保証料率により支払われた額、設備資金は北海道信用保証協会が保証付する金額の1%以内又は保証料のいずれか低い額を補給する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
中小企業者の借入負担を軽減し、企業の経営安定を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	市内の事業所数（非農林漁業）	所	3,366	3,366	3,366	3,366
対象指標2						
活動指標1	信用保証料補給件数	件	77	86	102	117
活動指標2	信用保証料補給金額	千円	8,649	7,771	10,047	10,770
成果指標1	負担が軽減され、経営安定が図られた企業数	件	77	86	102	117
成果指標2						
事業費(A)		千円	8,649	7,770	10,047	10,770
正職員人件費(B)		千円	2,344	1,963	1,956	1,913
総事業費(A+B)		千円	10,993	9,733	12,003	12,683

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	・市の中小企業融資制度を利用した企業等に対し、北海道信用保証協会に支払う保証料の全部又は一部を補助する。	・保証料補給金 10,770千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名： 中小企業振興資金融資事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和54年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内の中小企業者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
①市が市内金融機関に資金を預託し、これに金融機関の資金を加えることによって、中小企業者に対する融資の原資を確保する。 ②資金の利用を希望する中小企業者は、市内金融機関又は商工会議所中小企業相談所に融資の申込みをする。 ③中小企業相談所は市内金融機関に融資を斡旋し、金融機関は審査を行って中小企業者へ融資を実行する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
企業倒産を防ぐとともに、低利子の資金調達により、コストの削減が図られることで経営の安定に寄与する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市内の事業所数（非農林漁業）	所	3,366	3,366	3,366	3,366
対象指標 2						
活動指標 1	中小企業振興資金新規融資件数	件	31	21	31	30
活動指標 2	中小企業振興資金新規融資額	千円	238,500	137,500	192,250	180,625
成果指標 1	制度の利用により、経営安定化が図られた企業の件数	件	31	21	31	30
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	159,315	202,186	192,618	202,706
正職員人件費 (B)		千円	2,735	2,356	2,347	2,295
総事業費 (A+B)		千円	162,050	204,542	194,965	205,001

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	市内金融機関に資金を預託し、金融機関の審査の上、中小企業者等に対して融資を実行する。	・ 貸付金 202,706千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止 その他				

事業名： 小規模企業安定資金融資事業・中小企業振興融資診断事業（斡旋）

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和54年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市内の小規模企業者（常時使用する従業員数が20人（商業又はサービス業については5人）以下の会社及び個人）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
①市が市内金融機関に資金を預託し、これに金融機関の資金を加えることによって、中小企業者に対する融資の原資を確保する。 ②資金の利用を希望する市内中小企業者は、江別商工会議所中小企業相談所に融資の申込みをする。 ③中小企業相談所は市内金融機関に融資を斡旋し、金融機関は審査を行って中小企業者へ融資を実行する。 ④市は中小企業相談所へ斡旋手数料を支払う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
企業倒産を防ぐとともに、低利子の資金調達により、コストの削減が図られることで経営の安定に寄与する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	市内の事業所数（従業員20人以下）	所	3,008	3,008	3,047	3,008
対象指標2						
活動指標1	中小企業相談所斡旋件数	件	42	45	47	52
活動指標2	小規模企業安定資金新規融資額	千円	182,500	168,058	181,000	206,794
成果指標1	資金利用の倒産企業件数	件	0	0	0	0
成果指標2						
事業費(A)		千円	233,017	211,907	266,238	322,429
正職員人件費(B)		千円	2,735	2,356	2,347	2,295
総事業費(A+B)		千円	235,752	214,263	268,585	324,724

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内金融機関に資金を預託し、金融機関の審査の上、小規模企業者に対して融資を実行する。 江別商工会議所中小企業相談所に対し、企業斡旋手数料を支払う。 	<ul style="list-style-type: none"> 斡旋手数料 225千円 貸付金 322,204千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：商工業活性化事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の 基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化					
			プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援					
開始年度	平成 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
①中小企業団体 ②中小企業者 ③商店街団体 ④個人	
手段（事務事業の内容、やり方）	
・市内の経済活性化を図るため、中小企業や商店街等が行う事業に対して補助する。 ・共同施設等の整備や土地取得費、商店街の景観向上整備（ハード事業）や、人材育成、新製品・新技術の開発、販路拡大等（ソフト事業）に対する補助メニューがある。 ・事業申請書を提出し、補助事業の指定を受けたのち補助金を交付する。 ・事業終了後は報告書を提出する。 ・「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別市商工業活性化事業補助要綱」に基づき、市内の商工業の活性化に対する効果が認められる事業に対し、補助率1/10～7/10の範囲内（限度額400～8,000千円）で補助する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
商店街の景観整備やイベント、新商品開発、人材育成等により事業者の活力向上並びに商店街の魅力向上を図る。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	中小企業所数	所	3,409	3,409	3,409	3,409
対象指標 2	商店街組合数	件	8	8	8	8
活動指標 1	補助金額	千円	4,543	4,522	6,185	9,320
活動指標 2						
成果指標 1	補助金の活用件数	件	28	24	35	24
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	4,543	4,522	6,185	9,320
正職員人件費 (B)		千円	1,953	3,141	3,129	3,060
総事業費 (A+B)		千円	6,496	7,663	9,314	12,380

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	・市内の経済活性化を図るため、中小企業や商店街等が行う事業に対して補助する。 ・共同施設等の整備や土地取得費、商店街の景観向上整備（ハード事業）や、人材育成、新製品・新技術の開発、販路拡大等（ソフト事業）に対する補助メニューがある。 ・事業申請書を提出し、補助事業の指定を受けたのち補助金を交付する。 ・事業終了後は報告書を提出する。 ・「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」及び「江別市商工業活性化事業補助要綱」に基づき、市内の商工業の活性化に対する効果が認められる事業に対し、補助率1/10～7/10の範囲内（限度額400～8,000千円）で補助する。	・商工業活性化事業補助金 4,700千円 ・商店街建築協定推進事業補助金 1,320千円 ・共同施設整備事業補助金 3,300千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別商工会議所補助金

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略						
取組の 基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
商工会議所（中小企業相談所）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・江別商工会議所が実施する経営指導、各種相談業務等に対して補助する。 ・「江別市商工労働関係補助金交付規則」及び「江別商工会議所補助金交付要領」に基づき、江別商工会議所に対し、中小企業相談所運営費の1/3（限度額8,500千円）、関係団体運営費の1/2（限度額75千円）を補助する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
公平な機関として、中小企業者の成長発展を促進するための経営相談等のサービスを提供する。									

指標・事業費の推移							
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算	
対象指標 1	商工会議所	所	1	1	1	1	
対象指標 2	商工会議所会員数	所	878	860	878	860	
活動指標 1	補助金額	千円	8,575	8,575	8,575	8,575	
活動指標 2							
成果指標 1	経営指導件数	件	1,331	954	1,331	954	
成果指標 2	相談件数	件	2,702	2,560	2,702	2,560	
事業費 (A)		千円	8,575	8,575	8,575	8,575	
正職員人件費 (B)		千円	2,344	1,571	2,347	2,295	
総事業費 (A+B)		千円	10,919	10,146	10,922	10,870	

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	江別商工会議所が実施する経営相談、各種相談業務に対して補助する。	・補助金 8,575千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別市商店街振興組合連合会補助金 商工労働課参事（商店街活性化）

政策	02 産業		戦略						
取組の 基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市商店街振興組合連合会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
・「江別市商工労働関係事業補助金交付規則」に基づき、江別市商店街振興組合連合会の指導事業費の1/2を補助する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
商店街の組織化、近代化を推進するとともに、商店街の振興発展と連合会の運営の円滑化を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	連合会加入組合等の数	組合	8	8	8	8
対象指標 2	連合会加入組合傘下の商店等の数	所	99	101	136	136
活動指標 1	補助金額	千円	800	800	800	800
活動指標 2						
成果指標 1	会員への事務処理等指導件数	件	8	8	8	8
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	800	800	800	800
正職員人件費 (B)		千円	781	785	782	765
総事業費 (A+B)		千円	1,581	1,585	1,582	1,565

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	江別市商店街振興組合連合会指導事業に対し補助金を支出	江別市商店街振興組合連合会指導事業への補助金 800千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名： シルバー人材センター事業補助金 商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
高齢者の就業を支援する団体									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市商工労働関係補助金交付規則」及び「公益社団法人江別市シルバー人材センター補助金交付要領」に基づきシルバー人材センターに対し、同センターの管理運営費（人件費・事務運営費等）を補助する。市補助金は同センターの事業計画の提出に基づき、国の補助基準に基づき決定する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
高齢者の経験と技術を生かした就業の場を提供する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	高齢者の就業を支援する団体数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	9,900	10,080	16,780	23,381
活動指標 2						
成果指標 1	（社）江別市シルバー人材センター受注事業費	千円	226,071	227,915	226,071	227,915
成果指標 2	（社）江別市シルバー人材センター延就業者人数	人日	51,973	48,469	51,973	48,469
事業費 (A)		千円	9,900	10,080	16,780	23,381
正職員人件費 (B)		千円	781	785	782	765
総事業費 (A+B)		千円	10,681	10,865	17,562	24,146

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	シルバー人材センターへの補助	補助金 23,381千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
28年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
維持					
見直し					○
新規					
休止					

事業名：勤労者研修センター管理運営事業 商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	昭和58年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
勤労者研修センター									
手段（事務事業の内容、やり方）									
指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
勤労者の研修等を実施するため、施設の維持管理・運営を適切に行う。									

指標・事業費の推移							
		区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	施設数		施設	1	1	1	1
対象指標 2							
活動指標 1	指定管理料		千円	9,211	9,124	9,283	9,213
活動指標 2	開館日数		日	294	293	294	294
成果指標 1	利用者数		人	13,808	13,840	13,808	13,840
成果指標 2							
事業費 (A)			千円	9,211	9,124	9,283	9,213
正職員人件費 (B)			千円	1,172	1,178	1,173	1,148
総事業費 (A+B)			千円	10,383	10,302	10,456	10,361

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
28年度	江別市勤労者研修センター管理運営費として、指定管理者へ管理代行させる	・指定管理料	9,213千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：勤労者生活資金貸付事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	市内在住及び市内事業所に勤務する勤労者
手段（事務事業の内容、やり方）	市内同一事業所に1年以上勤務又は市内に1年以上在住し同一事業所に勤務する従業員を対象に、100万円を上限として一般生活資金等を融資する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	低利子の融資により、市内勤労者の生活安定に寄与する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市内事業所従業員数	人	31,342	31,342	31,342	31,342
対象指標 2						
活動指標 1	勤労者生活資金貸付制度預託額	千円	3,500	3,500	3,500	3,500
活動指標 2						
成果指標 1	新規生活資金利用者数	件	1	2	1	2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	3,500	3,500	3,500	3,500
正職員人件費 (B)		千円	391	393	391	383
総事業費 (A+B)		千円	3,891	3,893	3,891	3,883

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	市内同一事業所に1年以上勤務又は市内に1年以上在住し同一事業所に勤務する従業員を対象に、100万円を上限として一般生活資金等を融資する。	・貸付金 3,500千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
28年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
向上					
維持				○	
低下					
改革方向性（成果）					

事業名：勤労者福祉共済制度助成事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
江別市勤労者共済会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市勤労者共済会の管理運営費の一部として、江別市勤労者福祉共済制度助成事業補助金交付要領に基づき、補助金を交付する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市内の中小企業等の従事者の福祉向上に寄与する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	勤労者共済会加入者数	人	852	827	852	827
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	2,074	1,952	2,106	2,123
活動指標 2						
成果指標 1	各種共済給付金給付額	千円	3,338	2,073	3,338	2,073
成果指標 2	各種福利厚生事業費	千円	1,919	1,760	1,919	1,760
	事業費 (A)	千円	2,074	1,952	2,106	2,123
	正職員人件費 (B)	千円	391	393	391	383
	総事業費 (A+B)	千円	2,465	2,345	2,497	2,506

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	江別市勤労者共済会に対する運営費補助	・ 補助金 2,123千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
28年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果）	向上	減少	維持	増加
維持			維持	○		
見直し						
新規						
休止						
廃止						
その他						

事業名：労働振興補助金

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略						
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
連合北海道江別地区連合									
手段（事務事業の内容、やり方）									
江別市労働振興補助金交付要領に基づき、単位組合の数が10組合以上で構成し、労働者の地位向上を図る団体（連合）に対し、補助を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市内労働者の労働条件を向上させるため労働者の保護や意識啓発に関する事業を実施する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	連合北海道江別地区連合組合数	団体	23	22	22	21
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	737	737	737	737
活動指標 2						
成果指標 1	事業参加者数	人	702	689	702	689
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	737	737	737	737
正職員人件費 (B)		千円	391	393	391	383
総事業費 (A+B)		千円	1,128	1,130	1,128	1,120

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	労働者の地位向上や体育・文化活動、講習等に係る事業費の一部を補助する。	・補助金 737千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：旧岡田倉庫活用事業

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成17年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
旧岡田倉庫活用民間運営協議会	
手段（事務事業の内容、やり方）	
芸術文化活動等の発信の場や自由に交流する空間として活用される旧岡田倉庫を運営する協議会に対し「旧岡田倉庫活用事業補助金交付要領」に基づき補助金を交付する。 補助金額は、旧岡田倉庫の運営に必要な額のうち、予算の範囲内で市長が定めるものとする。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
活動を通して、江別駅周辺地域の活性化に寄与する。江別の歴史や文化的な価値の高さを市民に啓発する。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	旧岡田倉庫活用民間運営協議会会員数	人	28	32	40	32
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,000	1,000	1,000	1,000
活動指標 2						
成果指標 1	事業等開催数	回	200	119	200	119
成果指標 2	利用者数	人	4,190	3,376	4,000	3,376
事業費 (A)		千円	1,010	1,010	1,010	1,010
正職員人件費 (B)		千円	781	785	782	765
総事業費 (A+B)		千円	1,791	1,795	1,792	1,775

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	旧岡田倉庫活用事業補助金交付要領に基づき補助金を交付	補助金 1,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：江別駅前再開発事業

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成19年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
えべつみらいビル									
手段（事務事業の内容、やり方）									
地元市民団体が参画した㈱SPCみらいが、福祉棟と商業・業務棟2棟のビル運営による江別駅前再開発事業を実施。当該事業が健全に遂行されるよう、継続的に支援を行う。 ・えべつみらいビル3、4階の業務フロアを20年間借上げし、コールセンター等の企業を誘致する。 ・入居企業のフォローアップと入退去管理を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別駅周辺の活性化の一助となる。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	えべつみらいビルテナント部分床面積	坪	1,299.78	1,299.78	1,299.78	1,299.78
対象指標2						
活動指標1	えべつみらいビル3、4階賃借料	千円	118,843	118,843	118,843	118,843
活動指標2	入居率（ビル全体）	%	100	100	100	100
成果指標1	江別駅周辺地区の新規開業数	件	14	7	10	7
成果指標2	江別駅乗降客数	人/日	7,715	7,895	7,715	7,895
事業費(A)		千円	118,889	118,889	118,889	118,889
正職員人件費(B)		千円	4,688	3,141	3,129	3,060
総事業費(A+B)		千円	123,577	122,030	122,018	121,949

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	えべつみらいビル3・4階の賃貸	賃貸料 118,843千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
28年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果） 向上 維持 低下	減少	維持	増加
維持					
見直し					
新規				○	
休止					
廃止					
その他					

事業名：食を軸とした観光誘客・地場産品販路拡大事業 商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	② マーケティングの視点に基づいた産業振興				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
中小企業者									
手段（事務事業の内容、やり方）									
北海道や北海道貿易物産振興会が実施する北海道産品取引商談会への参加等、マーケティング支援を最大限活用し、地域内・地域外での積極的な地場産品の販売戦略等を江別市が関係団体等と連携しながら推進する。また、地場産品の販売にあわせて江別の観光プロモーションを行なうことにより、観光客誘客促進などにつなげる。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
販路拡大や商品開発・ブランド化に取り組む。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標1	中小企業所数	所	3,409	3,409	3,409	3,409
対象指標2	観光協会会員数	会員	175	180	180	200
活動指標1	商談会・催事出展件数	件	2	4	4	5
活動指標2						
成果指標1	商談会・催事出展企業数	社	33	24	29	30
成果指標2						
事業費 (A)		千円	602	182	243	0
正職員人件費 (B)		千円	2,344	1,571	1,956	2,295
総事業費 (A+B)		千円	2,946	1,753	2,199	2,295

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度 江別産品試食相談会 北海道産品取引商談会 マーケティングテスト販売 道外江別フェア	※27年度補正予算を28年度へ繰越しするため、28年度当初予算は0円である。 【28年度繰越事業費…473千円、28年度総事業費…2,768千円】 江別産品試食相談会 113千円 北海道産品取引商談会 94千円 マーケティングテスト販売 31千円 道外江別フェア 228千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	道外販路拡大のニーズがあることから、道外催事・物産展等について支援を行う。	減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止 その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：総合特区推進事業

参事（総合特区推進）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	④ 大学・研究機関との共同研究の推進				
開始年度	平成24年度	終了年度	平成28年度	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区（区域）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> 関係自治体等で構成される協議会等に参画し、道内3地域連携のもと、食の付加価値向上に向けた共同事業等を推進する。 大学、研究機関等との連携を推進し、食品の機能性検証システムを構築する。 機能性食品開発支援補助金（H27～）：食の臨床試験に関する企業相談や試験結果の論文化に対し補助を行う。 海外市場開拓等促進補助金（H25～）：海外市場開拓等促進補助金交付要領に基づき、市内で生産した加工食品・農畜産物の輸出等をする企業等に補助金を交付する。（補助率：対象経費の1/2） 海外市場開拓・販路拡大のため、海外で商品販売イベント等を実施する。 江別市におけるフード特区の取組みを首都圏の企業にPRするフード特区広報事業を実施する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
食関連産業の立地環境（事業しやすい環境、取り組みやすい環境）が整備され、道内外の食品メーカー・研究施設が市内に新規立地するようになるとともに、市内既存食品メーカーが事業を拡大するようになる。									

指標・事業費の推移							
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算	
対象指標1	特区協議会の構成員数	団体	89	89	90	90	
対象指標2							
活動指標1	食品の臨床試験ボランティア登録者数	人	3,052	4,750	6,000	7,000	
活動指標2	補助金額	千円	10,061	10,295	7,000	7,000	
成果指標1	食関連企業の新増設数	社	0	1	2	2	
成果指標2							
事業費（A）		千円	14,412	17,858	8,470	5,524	
正職員人件費（B）		千円	11,720	11,780	15,644	7,651	
総事業費（A+B）		千円	26,132	29,638	24,114	13,175	

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> フード特区機構の運営等に係る経費の負担金を支出。 機能性食品開発を支援する補助金を交付。 市内で生産した加工食品・農畜産物の輸出に取組む企業等に補助金を交付。 市内食品メーカーの海外市場開拓・販路拡大等を支援するため、海外で商品販売イベントやバイヤーとの商談を実施。 フード特区の取組みを首都圏の企業にPRするフード特区広報事業を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> フード特区機構負担金 2,334千円 機能性食品開発支援補助金 6,500千円 海外市場開拓等促進補助金 500千円 海外市場開拓支援事業 1,086千円 フード特区広報事業 1,240千円 <p>※26年度補正予算を27年度へ繰越したため、27年度当初予算が8,470千円である。 【27年度繰越予算…6,500千円、27年度総事業費…30,614千円】 ※27年度補正予算を28年度へ繰越したため、28年度当初予算が5,524千円である。 【28年度繰越予算…6,500千円、28年度総事業費…19,675千円】</p>

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	<ul style="list-style-type: none"> 健康カード事業の基盤整備に係る支援に代え、普及・活用促進に係る経費を負担する。 	減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：商店街参入促進事業

商工労働課参事（商店街活性化）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	③ 地域に根差した商店街の魅力づくりの支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	平成28年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民									
手段（事務事業の内容、やり方）									
コミュニティ活動啓発セミナーの開催により高齢者や学生の商店街での活動参入を促し、参入希望者へのサポート事業を実施する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
商店街でのコミュニティ活動参加に対する機運を醸成する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市民	人	0	120,335	120,335	119,587
対象指標 2						
活動指標 1	セミナー開催数	回	0	1	1	2
活動指標 2						
成果指標 1	セミナー参加者数	人	0	47	50	50
成果指標 2	サポート事業実施数	件	0	7	2	2
事業費 (A)		千円	0	530	750	750
正職員人件費 (B)		千円	0	1,571	1,564	2,295
総事業費 (A+B)		千円	0	2,101	2,314	3,045

28年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ活動啓発セミナーの開催 ・活動参入者へのサポート事業の実施 	コミュニティ活動啓発セミナー開催及び参入サポート事業に係る委託経費 750千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
28年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果） 向上 維持 低下	減少	維持	増加
維持					
見直し					○
新規					
休止					

事業名：有給インターンシップ等地域就職支援事業 商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
			プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
<ul style="list-style-type: none"> ・市内企業 ・市内大学の学生 	
手段（事務事業の内容、やり方）	
①市内大学と市内企業が連携して行う有給インターンシップが円滑に進むよう支援する。 ②市内関係機関連絡会議等を通じて市内大学が開催する学内企業説明会に参加する市内企業を支援する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
①学生の学費・生活費確保と、市内企業の労働力確保の両立を図る。 ②学生における市内企業への就職意欲を高める。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市内大学の在籍学生数	人	0	10,711	11,167	10,711
対象指標 2						
活動指標 1	市内大学の就職関連の取組について情報提供した企業数	数	0	53	50	50
活動指標 2						
成果指標 1	有給インターンシップ参加学生数	人	0	3	32	40
成果指標 2	学内企業説明会参加企業数	社	0	4	5	5
事業費 (A)		千円	0	2	0	0
正職員人件費 (B)		千円	0	1,571	2,347	2,295
総事業費 (A+B)		千円	0	1,573	2,347	2,295

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	①有給インターンシップ制度の運営 ②市内大学に対する市内企業の求人活動の支援	※27年度補正予算を28年度へ繰越するため、28年度当初予算は0円である。 【28年度繰越事業額…13,992千円、28年度総事業費…16,287千円】 ・有給インターンシップ制度運営経費 13,927千円 ・事務経費 65千円 ※26年度補正予算を27年度へ繰越したため、27年度当初予算が0円である。 【27年度繰越予算…11,770千円、27年度総事業費…14,117千円】

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
28年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
向上					○
維持					
低下					

事業名：働きたい女性のための就職支援事業 商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
			プログラム	② 潜在労働力の掘り起し（就労支援）				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	就職を希望している女性
手段（事務事業の内容、やり方）	①就職に必要なスキルを習得するための研修や企業実習の実施などにより、女性の就職や就職後の定着を支援する。 ②女性向けの就職支援セミナーの開催や、女性の雇用に積極的な企業に関する情報提供などを行い、女性と企業の接点を増やす。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	女性の就職に向けた課題を解決し、就職もしくは再就職ができるようにする。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市内の女性数（15～64歳）	人	0	38,227	38,227	37,369
対象指標 2						
活動指標 1	就職支援セミナー開催回数	回	0	3	1	4
活動指標 2	就職支援研修実施回数	回	0	0	2	2
成果指標 1	就職支援セミナー来場者数	人	0	32	150	100
成果指標 2	就職者数	人	0	0	50	50
事業費 (A)		千円	0	193	0	0
正職員人件費 (B)		千円	0	785	2,347	2,295
総事業費 (A+B)		千円	0	978	2,347	2,295

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	①就職に向けた研修プログラムの実施 ②就職支援のためのセミナーの開催や求人企業に関する情報提供 ③子育て支援施設に隣接した就職相談窓口の運営	※27年度補正予算を28年度へ繰越すため、28年度当初予算は0円である。 【28年度繰越事業額…22,061千円、28年度総事業費…24,356千円】 ・研修プログラム実施経費 19,203千円 ・就職支援セミナー開催経費 929千円 ・就職相談窓口運営経費 1,929千円 ※26年度補正予算を27年度へ繰越したため、27年度当初予算が0円である。 【27年度繰越予算…26,897千円、27年度総事業費…29,244千円】

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	研修プログラムにおけるOJT期間を2ヶ月間から1か月間に短縮する。	減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				
改革方向性（成果）	向上			
	維持	○		
	低下			

事業名：経済活動広報事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
			プログラム	① 市内企業等が主体となったネットワーク構築の支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市民	
手段（事務事業の内容、やり方）	
市内の経済・産業・企業を紹介する記事を市内各世帯に配布されるフリーペーパーや広報紙に掲載する。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
市内産業や市内企業について、市民の認識が広がる。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市民	人	0	120,335	120,335	119,587
対象指標 2	世帯数	世帯	0	55,236	55,236	55,530
活動指標 1	年間発行回数	回	0	1	6	12
活動指標 2						
成果指標 1	広報した産業・企業数	件	0	4	6	12
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	900	900	900
正職員人件費 (B)		千円	0	1,571	1,564	2,295
総事業費 (A+B)		千円	0	2,471	2,464	3,195

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	市内の経済・産業・企業を紹介する記事を市内各世帯に配布されるフリーペーパーや広報紙に掲載する。	フリーペーパー広報紙記事掲載委託費 900千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	フリーペーパーに加え、広報紙の活用による広報回数の拡大（年6回→12回）	減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：高校生就職支援事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
				プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市内高校の生徒									
手段（事務事業の内容、やり方）									
①就業体験（インターンシップ） ②就職希望者に対する面接指導・研修 ③企業説明会									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
①適切な進路・職業選択のための職業観が醸成される。 ②希望する進路や職業に就くための知識、心構えを習得する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市内高校の生徒数	人	0	4,394	4,585	4,394
対象指標 2	市内高校卒業予定者のうち就職希望者数	人	0	142	152	142
活動指標 1	就業体験の参加生徒数	人	0	148	210	180
活動指標 2	就職希望者に対する研修等の開催回数	回	0	12	13	10
成果指標 1	就業体験に参加した生徒のうち、意義があったと思う生徒の割合	%	0	96	100	100
成果指標 2	就職希望者に対する研修等に参加した生徒のうち、役に立ったと思う生徒の割合	%	0	85	100	100
事業費 (A)		千円	0	2,613	0	2,500
正職員人件費 (B)		千円	0	2,356	2,347	2,295
総事業費 (A+B)		千円	0	4,969	2,347	4,795

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	①就業体験（インターンシップ） ②就職希望者に対する研修 ③企業説明会	・就業体験支援 800千円 ・就職希望者に対する研修 1,700千円 ※26年度補正予算を27年度へ繰越したため、27年度当初予算が0円である。 【27年度繰越予算…2,500千円、27年度総事業費…4,847千円】

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：野幌駅周辺地区商店街活性化促進事業 商工労働課参事（商店街活性化）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト	A 産業間連携等による産業の活性化				
				プログラム	③ 地域に根差した商店街の魅力づくりの支援				
開始年度	平成26年度	終了年度	平成28年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
野幌商店街									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決を目的としたコーディネーターを常設し支援を実施する。 ・「野幌駅周辺地区商店街活性化促進補助要綱」に基づき、野幌商店街の要請により出店するテナントに改装費の1/2（上限：300万円）や家賃の1/2（1年間、月額上限5万円）を補助する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
<ol style="list-style-type: none"> 1. 街路事業に伴う野幌商店街の再編整備に係る地域課題が解決される。 2. 野幌商店街の集客力が向上される。 									

指標・事業費の推移							
		区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	野幌商店街		団体	0	1	1	1
対象指標 2							
活動指標 1	コーディネーター数		人	0	1	1	1
活動指標 2	補助金額		千円	0	0	3,600	3,300
成果指標 1	相談件数		件	0	112	240	70
成果指標 2	誘致件数		件	0	0	1	1
事業費 (A)			千円	0	3,980	8,548	7,308
正職員人件費 (B)			千円	0	1,571	1,956	3,826
総事業費 (A+B)			千円	0	5,551	10,504	11,134

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の地域課題を解決するコーディネーターを常設 ・商店街の要請により出店するテナントに対し改装費や家賃を補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター委託費 4,008千円 ・誘致テナントへの補助金 3,300千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				○
休止				
廃止				
その他				

事業名： 介護人材育成事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	02 商工業の振興		プロジェクト	C 雇用の創出と人材育成の支援				
			プログラム	③ 産業の担い手の確保、人材育成の支援				
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	介護業界での就職希望者
手段（事務事業の内容、やり方）	介護業界での就職を希望する者に対して介護職に必要な研修を実施し、介護職に関する説明会や見学会などを実施して介護事業所への就職を支援する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	介護業界での就職を希望する者の資格取得や事業所とのマッチングにより介護事業所への就職と定着を図る。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市民（15～64歳）	人	0	0	74,918	73,281
対象指標 2						
活動指標 1	資格取得支援等実施回数	回	0	0	1	1
活動指標 2						
成果指標 1	資格取得講習修了者数	人	0	0	10	12
成果指標 2	介護事業所就職者数	人	0	0	10	10
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,564	1,530
総事業費 (A+B)		千円	0	0	1,564	1,530

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	介護分野への就職希望者に対し介護職員育成研修を実施するとともに、介護職に関する説明会や見学会などを実施して介護事業所への就職を支援する。	※27年度補正予算を28年度へ繰越事業したため、28年度当初予算は0円である。 【28年度繰越事業額…2,796千円、28年度総事業費…4,326千円】 ・介護職員育成研修及びマッチング支援経費 2,796千円 ※26年度補正予算を27年度へ繰越事業したため、27年度当初予算が0円である。 【27年度繰越予算…11,458千円、27年度総事業費…13,022千円】

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	求職者を雇用して1ヶ所で職場実習を行うのではなく、研修を無料で受講させるとともに様々な事業所の見学会や説明会を実施することにより、施設の形態によって職種や勤務条件が大きく異なる介護業界での適正なマッチングと定着を支援する。	減少	維持	増加
維持				
見直し		○		
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：工業団地環境整備事業

企業立地課 主査（企業立地）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	工業団地
手段（事務事業の内容、やり方）	工業団地内の道路改修等により環境を整備する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	企業が操業しやすい環境にする。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	工業団地（第一、第二工業団地、RTNパーク）の面積	h a	0	0	0	387.9
対象指標 2						
活動指標 1	工事費	千円	0	0	0	25,000
活動指標 2						
成果指標 1	工事延長	m	0	0	0	259
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	25,000
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	3,826
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	28,826

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	道路改修工事 延長=259m	工事費 25,000千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	工業団地内の道路改修等により環境を整備する。	減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：食の担い手育成支援事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	02 商工業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
就職を希望する女性、若者 食関連企業									
手段（事務事業の内容、やり方）									
就職を希望する女性や若者を雇用し、食関連企業への就職に必要なスキルを習得するための研修や企業実習の実施などにより就職を支援する。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
①就職を希望する女性や若者等が食関連企業に就職する。 ②食関連企業の労働力確保を図る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市民（15～64歳）	人	0	0	0	73,281
対象指標 2						
活動指標 1	就職支援研修実施回数	回	0	0	0	1
活動指標 2						
成果指標 1	就職者数	人	0	0	0	12
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	1,530
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	1,530

28年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	食関連企業への就職に向けた研修の実施	※27年度補正予算を28年度へ繰越したため、28年度当初予算は0円である。 【28年度繰越事業額…4,396千円、28年度総事業費…5,926千円】 ・研修プログラム実施経費 4,396千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	就職を希望する女性や若者等に食関連企業への就職に必要な研修プログラムを実施し、就職を支援する。	減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：えべつやきもの市イベント振興事業 商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
やきもの市実行委員会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市商工労働関係補助金交付規則」及び「えべつやきもの市事業補助金交付要領」に基づき、総事業費のうち、事務局費を除いた宣伝費、会場費、事業費を対象に補助金を交付。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市のPR、芸術文化の振興及び地域経済の活性化に寄与するとともに、イベントとしての楽しさを創造し社会性を育成する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	実行委員会構成団体数	団体	10	10	10	10
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	2,400	2,900	2,700	2,700
活動指標 2						
成果指標 1	来場者数	人	67,000	50,000	67,000	45,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,400	2,900	2,700	2,700
正職員人件費 (B)		千円	1,563	1,571	1,564	1,530
総事業費 (A+B)		千円	3,963	4,471	4,264	4,230

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	えべつやきもの市実行委員会への補助金交付	えべつやきもの市イベント振興事業補助金 2,700千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

事業名：北海鳴子まつり事業補助金

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略						
取組の基本方針	03 観光による産業の振興		プロジェクト						
			プログラム						
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
えべつ北海鳴子まつり実行委員会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市商工労働関係補助金交付規則」及び「北海鳴子まつり事業補助金交付要領」に基づき、北海鳴子まつり実行委員会への補助金を交付									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民相互の交流、観光誘客による市内経済の活性化を図る									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	実行委員会構成団体数	団体	12	12	12	12
対象指標 2	出場チーム数	団体	45	54	45	45
活動指標 1	補助金額	千円	1,700	2,200	1,700	1,700
活動指標 2						
成果指標 1	来場者数	人	19,000	12,000	19,000	12,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,700	2,200	1,700	1,700
正職員人件費 (B)		千円	781	785	782	765
総事業費 (A+B)		千円	2,481	2,985	2,482	2,465

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	北海鳴子まつり実行委員会への補助金交付	北海鳴子まつり補助金 1,700千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
28年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他	改革方向性（成果）	減少	維持	増加
向上					
維持				○	
低下					

事業名：江別市民まつり事業補助金

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略					
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民まつり実行委員会									
手段（事務事業の内容、やり方）									
「江別市商工労働関係補助金交付規則」及び「江別市民まつり事業補助金交付要領」に基づき、各市民まつり実行委員会に対する補助金の交付									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民相互の交流と、地域コミュニティを醸成する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市民まつり実行委員会の数	団体	3	3	3	3
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	2,250	2,250	2,250	2,250
活動指標 2						
成果指標 1	来場者数	人	70,330	66,000	71,000	66,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	2,250	2,250	2,250	2,250
正職員人件費 (B)		千円	1,563	1,571	1,564	1,530
総事業費 (A+B)		千円	3,813	3,821	3,814	3,780

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	江別市民まつり実行委員会への補助金交付	江別市民まつり補助金 2,250千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）			
28年度への改善方向性	維持 見直し 新規 休止 廃止 その他		減少	維持	増加
維持		改革方向性（成果）	向上		
見直し			維持	○	
新規			低下		
休止					
廃止					
その他					

事業名：江別観光協会補助金

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業		戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化					
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興		プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興					
			プログラム	② 観光資源のパッケージ化					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
江別観光協会	
手段（事務事業の内容、やり方）	
「江別市商工労働関係補助金交付規則」及び「江別観光協会補助金交付要領」に基づき、江別観光協会事業への補助金交付	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
観光協会の活動が活発化し、観光入込客数が増える。	

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	江別観光協会会員数	会員	175	180	180	200
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	1,335	1,707	1,850	2,647
活動指標 2						
成果指標 1	観光協会事業件数	件	7	7	7	7
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,335	1,707	1,850	2,647
正職員人件費 (B)		千円	5,860	3,927	3,911	3,826
総事業費 (A+B)		千円	7,195	5,634	5,761	6,473

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	江別観光協会事業への補助金交付	江別観光協会補助金 2,647千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
28年度への改善方向性	観光パンフレットを統合し、掲載内容の拡充と増刷を行う。		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			
見直し			維持			○
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：江別アンテナショップGET'S管理運営事業 商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興				
				プログラム	① 地域資源の観光への有効活用				
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
市民及び観光客									
手段（事務事業の内容、やり方）									
歴史的れんが建造物である旧ヒダ工場内にアンテナショップを設置し、観光・物産等の魅力を発信・プロモーションする。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
江別市をはじめ、姉妹都市グレスラム市及び友好都市土佐市の特産品のほか、江別市の観光情報等、魅力的な情報が手に入る。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	市民	人	0	0	0	119,587
対象指標 2						
活動指標 1	営業日数	日	0	0	0	365
活動指標 2						
成果指標 1	アンテナショップ来店者数	人	0	0	0	25,000
成果指標 2	アンテナショップ来店者数（市外）	人	0	0	0	3,750
事業費 (A)		千円	0	0	0	9,699
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	1,913
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	11,612

28年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> アンテナショップ管理運営 壁面黒板チョークアート 	<ul style="list-style-type: none"> アンテナショップ管理運営委託料：8,003千円 チョークアート制作委託料：100千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	旧ヒダ工場が商業施設として活用されることに伴い、アンテナショップに観光情報案内等の新たな機能を加え、江別アンテナショップGET'Sとしてオープンした。	減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：地域発見魅力発信事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	02 産業			戦略	2 えべつの将来を創る産業活性化				
取組の 基本方針	03 観光による産業の振興			プロジェクト	D 地域資源の活用による観光の振興				
				プログラム	① 地域資源の観光への有効活用				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
・周辺市町村									
手段（事務事業の内容、やり方）									
市内を周遊できるマップの作成・配布や地域プロモーションを実施し、江別周辺市町村への住民にPRする。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
地域資源を活用した観光情報を発信し、江別市の知名度向上を図り近隣市の住民や観光客の市内への入り込み数を増やす。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	周辺市町村数	市町村	8	8	8	8
対象指標 2						
活動指標 1	プロモーション事業件数	件	4	4	6	7
活動指標 2						
成果指標 1	主要観光施設観光入込客数	人	152,856	147,407	129,000	240,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	1,649	2,852	3,015	5,351
正職員人件費 (B)		千円	2,344	2,356	3,129	3,826
総事業費 (A+B)		千円	3,993	5,208	6,144	9,177

28年度	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブコースの設定 ・さっぽろ広域観光圏推進協議会への事業費負担金支出 ・ノハナショウブ保存活用事業 ・リアル謎解き探偵inEBETSUの実施 ・健康ウォーキングマップの発行 ・地域おこし協力隊 	ドライブコースご当地ナビ事業経費 36千円 さっぽろ広域観光圏推進協議会事業費負担金 500千円 ノハナショウブ保存活用事業費 350千円 リアル謎解き探偵inEBETSU実施事業経費 1,800千円 ウォーキングマップ製作委託料 292千円 地域おこし協力隊 委員報酬 2,373千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）				
28年度への改善方向性	観光資源のパッケージ化による、市内周遊促進に取り組む		減少	維持	増加	
維持		改革方向性（成果）	向上			○
見直し			維持			
新規			低下			
休止						
廃止						
その他						

事業名：消費者保護育成事業

商工労働課 主査（商工労働）

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	01 安全な暮らしの確保			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	補助	補助金	奨励的補助

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
<ul style="list-style-type: none"> ・市民 ・江別消費者協会 									
手段（事務事業の内容、やり方）									
<ul style="list-style-type: none"> ・江別消費者協会への消費生活相談業務の委託 ・江別消費者協会への消費生活コーディネーター業務の委託 ・江別消費者協会の運営費及び事業費の一部を補助する。 ・消費啓発イベント実行委員会が主催する啓発活動の事業費を補助する。 									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
被害の未然防止や被害後の救済の支援を行うことで、市民が安心・安定した消費生活を送ることができる。									

指標・事業費の推移							
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算	
対象指標 1	市民	人	0	0	0	119,587	
対象指標 2	江別消費者協会会員数	人	0	0	0	301	
活動指標 1	年間相談開催日数	日	0	0	0	243	
活動指標 2	消費啓発講座等開催回数	回	0	0	0	14	
成果指標 1	消費生活相談受付件数	件	0	0	0	532	
成果指標 2	消費啓発講座等参加者数	人	0	0	0	709	
事業費 (A)		千円	0	0	0	7,735	
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	5,738	
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	13,473	

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・江別消費者協会への消費生活相談業務の委託 ・江別消費者協会への消費生活コーディネーター業務の委託 ・江別消費者協会の事業費及び運営費の一部を補助する。 ・啓発イベント実行委員会が主催する、啓発活動の事業費の一部を補助する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活相談業務委託 3,951千円 ・消費生活コーディネーター業務委託 392千円 ・江別消費者協会補助金 2,228千円 ・消費活動啓発事業補助金 350千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性	消費者安全法の改正に合わせて消費生活センターを開設し、消費者保護と普及啓発を一層進めるため、消費者行政に係る従来の5事業を統合した。	減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止 その他				

事業名：歴史的れんが建造物保存活用事業 商工労働課 主査（商工労働）

政策	07 生涯学習・文化			戦略					
取組の基本方針	02 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造			プロジェクト					
				プログラム					
開始年度	—	終了年度	平成28年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果									
対象（誰、何に対して事業を行うのか）									
れんが建造物（旧ヒダ工場、すずらんボベダ）									
手段（事務事業の内容、やり方）									
旧ヒダ工場のほか、江別れんがを用いたモニュメント「すずらんボベダ」を含む歴史的れんが建造物の保存、活用を行う。									
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
れんが工場や窯業工場が栄華を誇った旧ヒダ工場や江別れんがに触れることのできる「すずらんボベダ」を保存・活用することで、地域文化を次代に引き継ぎ、市民のふるさと意識を醸成する。									

指標・事業費の推移						
	区分	単位	25年度実績	26年度実績	27年度予算	28年度予算
対象指標 1	れんが建造物の物件数（旧ヒダ工場、すずらんボベダ）	件	1	2	2	2
対象指標 2						
活動指標 1	歴史的れんが建造物維持点検数	回	3	3	3	0
活動指標 2	グレシャムアンテナショップ開設日	日	307	308	328	365
成果指標 1	歴史的れんが建造物の利活用件数	回	3	3	2	2
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	19,106	21,344	46,805	17,710
正職員人件費 (B)		千円	3,125	3,927	3,911	3,826
総事業費 (A+B)		千円	22,231	25,271	50,716	21,536

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・すずらんボベダ防水補修 ・旧ヒダ工場を活用したイベントの委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・土地開発基金買戻分(15年目) 16,805千円 ・すずらんボベダ防水補修費 130千円 ・イベント委託料 600千円 ・イベント区画賃借料 175千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
28年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）			
	向上			
	維持	○		
	低下			

